

おんしりん

No.89



◇新年のごあいさつ

◇第4回定例会開催

収入役の選任・補正予算を可決

◇第3回定例会開催

平成20年度決算を認定

◇おんしりんフェスティバル秋の報告

◇対談「自然と共に生きる」

◇組合からのお知らせ

◇謝謝来園



新年のごあいさつ



組合長
栗原 雅智

一市二村入会住民の皆様、あけましておめでとございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は、恩賜林組合に對しまして、深いご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

さて、鳩山総理は、先の国会での所信表明演説の中で「地域の絆」と「新しい公共」というキーワードを掲げ、また、地球温暖化対策への取り組みについても言及しました。

これまで日本の社会を支えてきた地域の「絆」が切り裂かれ、地域共同体は失われつつあると語り、「官」といわれる人たちに支えられるだけでなく、人と人が支え合い役に立ち合う「新し

い公共」を目指したいとも語りました。現代社会において失われていく地域社会の仕組みの再生を願っているものだと思います。

しかし、この富士北麓においては、幸いにも遠い昔より今日まで連綿と地域の絆や人と人が支え合う仕組みが活き続けていることを、改めて思い起こしています。

この仕組みを支えるものが、富士山北面旧十一か村の入会権であり、これを保持することを任されているのが恩賜林組合です。

入会は、江戸時代以前からある地域共同の仕組みですが、この真髄である地域住民の絆や共生の考え方やその実践は、政府が今再生しようとする遙か以前から今日までこの北麓にあり、未来にも持続可能な仕組みです。

そしてまた、恩賜林組合は、百年以上も前から、富士山北面の八千ヘクタール余りの入会地のうち約六千ヘクタールの森林を創り上げ国土保全はもとより、温室効果ガスを吸収する美林として社会に貢献しています。

入会権の効果は、林野の産物を採取することに留まらず、地域社会の絆、人と人の支え合う仕組み、そして、環境保全に役立つことを、新年にあたり思い、入会住民の皆様之恩賜林組合であり続けるよう、さらに奮闘していくことをお誓い申し上げます。

どうか、皆様方の一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、本年が皆様方にとって実りある幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。



議長
渡辺 利彦

一市二村入会住民の皆様、あけましておめでとございます。

輝かしい新春を迎え、組合議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

入会住民の皆様には、平素より本組合並びに組合議会の運営に對し絶大なるご協力を賜り、深く感謝の意を表しますとともに、本年も倍旧のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私は、昨年六月定例会において、第六十一代組合会議長に就任しました。この

ことは、私にとりまして誠に身に余る光栄であり、衷心から感謝いたしております。また、組合議会の歴史等を顧みる時、さらには今後予測される重要事案に想いを馳せる時、議長という責務の重みを改めて感じる次第であります。

就任以来、入会住民の代表である議員各位の意思を最大限尊重しつつ、あくまでも議会が公正、円滑な議会運営を目指し努力してまいりました。

私ども議会は、本組合の施策の推進、将来の方針等といった重要な事項を決定する機能を有する組織であります。そしてまた、自らが旧十一か村入会住民の代表者でもあるという認識に鑑み、皆様からの信託を反映させるべく議決機関としてその権能を遺憾なく発揮し、執行者と相携えながら本組合の運営に對処して参りたいと考えております。

本組合の将来を展望すると、これからも幾多の難題が待ち受けているかと思ひますが、当議会は、皆様のご理解とご協力をいただく中、入会権擁護と一市二村関係住民の福祉向上を基本として、一市二村の歩調を揃えた発展のため努力を惜しまない覚悟でおりますので、関係機関並びに入会住民の皆様には、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとって幸多き年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

収入役の選任・補正予算を可決

平成21年第4回定例会は、12月7日から12月22日までの16日間で会期を終了しました。
本定例会において、上程された議案は、すべて原案のとおり可決されました。



議案10号

組合長等の給与条例の一部改正について(可決)

国家公務員の特別職の給与改定に伴い、本組合の条例の一部を改正するものです。

議案11号

組合職員の給与条例の一部改正について(可決)

国家公務員の一般職の給与に関する法律の一部を改正する法律の施行等に伴い、本組合の条例の一部を改正するものです。

議案12号

平成21年度組合一般会計補正予算(第2号)(可決)

既定の予算から、歳入歳出それぞれ4493万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、24億499万6千円とするものです。

議案13号

平成21年度組合林産物流通事業特別会計補正予算(第1号)(可決)

既定の予算から、歳入歳出それぞれ1029万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、5193万5千円とするものです。

議案14号

収入役の選任について(同意)

組合収入役の選任について、長田日出行氏を選任することについて同意を求めるものです。

議案15号

平成21年度組合一般会計補正予算(第3号)(可決)

既定の予算から、歳入歳出それぞれ9億4500万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、33億4999万6千円とするものです。

新議員の紹介



河内 武雄
山中地区
(山中湖村 山中)

平成21年第4回定例会において山中湖村山中地区の組合会議員の後任として新しく就任したので紹介します。

新収入役の紹介



長田 日出行
(忍野村 忍草)

財政事情の公表

本組合では、予算の執行状況などを地域の皆さんにお知らせするため、年に2回財政事情を公表しています。
今回は、平成21年度一般会計及び特別会計の上半期(9月30日現在)における予算執行状況並びに基金の状況について公表します。

平成21年度歳入歳出予算の執行状況(上半期)

一般会計

(単位:円)

科 目(款)	歳 入	
	予算現額	収入済額
1 使用料及び手数料	4,672,000	4,658,060
2 国庫支出金	22,192,000	0
3 県支出金	5,395,000	675,000
4 財産収入	553,852,000	475,825,616
5 繰入金	240,030,000	0
6 繰越金	1,000	0
7 森林整備交付金	3,507,000	0
8 諸収入	1,620,281,000	1,595,509,343
計	2,449,930,000	2,076,668,019

(単位:円)

科 目(款)	歳 出	
	予算現額	支出済額
1 議会費	54,071,000	23,908,470
2 総務費	411,453,000	170,202,257
3 事業費	1,974,654,000	366,558,006
4 公債費	1,000	0
5 予備費	9,751,000	0
計	2,449,930,000	560,668,733



林産物流通事業特別会計

(単位:円)

科 目(項)	歳 入	
	予算現額	収入済額
1 営業収入	48,608,000	41,364,772
2 営業外収入	13,624,000	8,000,210
計	62,232,000	49,364,982

(単位:円)

科 目(項)	歳 出	
	予算現額	支出済額
1 営業費	60,802,000	38,455,223
2 営業外費	1,230,000	626,600
3 予備費	200,000	0
計	62,232,000	39,081,823

関係市村配分金の概要

賦課金なし

財産及び積立金の状況(平成21年9月30日現在)

(単位:円)

基金名	金 額
財政調整基金	3,190,709,131
林業振興事業整備基金	6,619,424,142
計	9,810,133,273

平成20年度 決算を認定

平成21年第3回定例会は9月8日から10月1日までの24日間で会期を終了しました。本定例会において、上程された議案は、すべて原案のとおり認定されました。

議案01号

平成20年度組合一般会計及び平成20年度組合林産物流通事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定）

一般会計の決算は、歳入24億501万6813円、歳出23億8840万7680円、歳入歳出差引額は1660万9133円です。
林産物流通事業特別会計の決算は、歳入歳出ともに5370万2436円です。

新議員の紹介



宮下 正男
上吉田地区
(富士吉田市)

平成21年第3回定例会において富士吉田市上吉田地区の組合会議員の後任として新しく就任したので紹介します。

平成20年度各会計別決算の概要

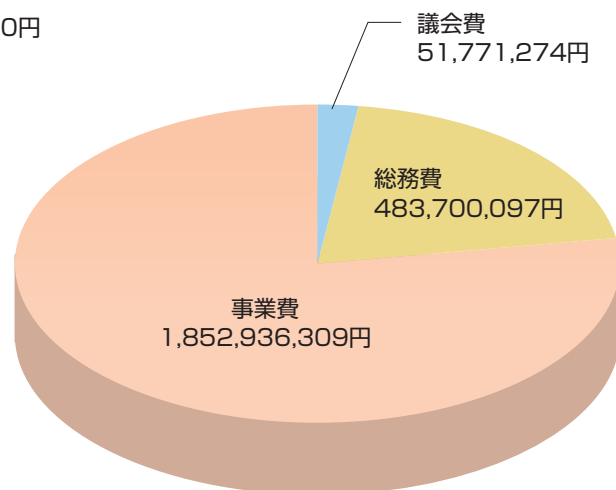
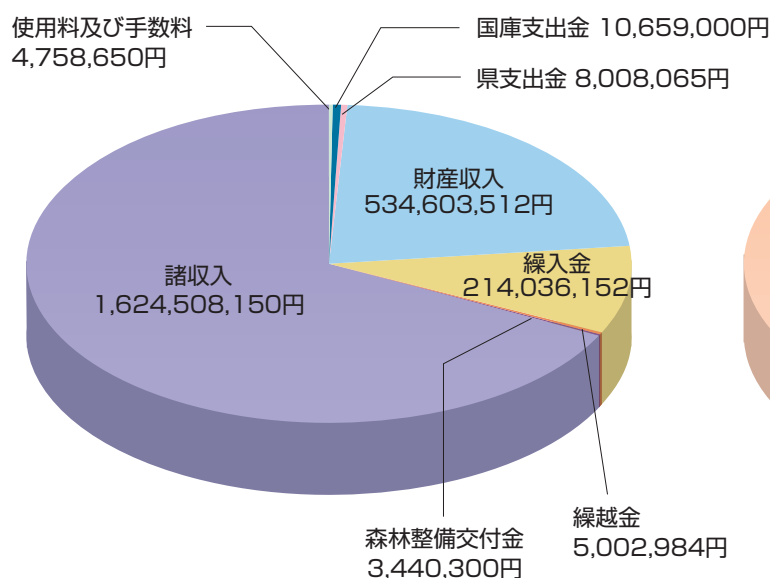
一般会計

(単位：円)

歳 入		
科 目(款)	予算現額	収入済額
1 使用料及び手数料	4,757,000	4,758,650
2 国庫支出金	10,659,000	10,659,000
3 県支出金	8,007,000	8,008,065
4 財産収入	534,449,000	534,603,512
5 繰入金	214,038,000	214,036,152
6 繰越金	5,002,000	5,002,984
7 森林整備交付金	3,440,000	3,440,300
8 諸収入	1,624,644,000	1,624,508,150
計	2,404,996,000	2,405,016,813

(単位：円)

歳 出		
科 目(款)	予算現額	支出済額
1 議会費	52,853,000	51,771,274
2 総務費	486,313,000	483,700,097
3 事業費	1,855,829,000	1,852,936,309
4 公債費	1,000	0
5 予備費	10,000,000	0
計	2,404,996,000	2,388,407,680



林産物流通事業特別会計

(単位：円)

歳 入		
科 目(項)	予算現額	収入済額
1 営業収入	49,830,000	49,796,341
2 営業外収入	4,295,000	3,906,095
計	54,125,000	53,702,436

(単位：円)

歳 出		
科 目(項)	予算現額	支出済額
1 営業費	52,955,000	52,733,336
2 営業外費	970,000	969,100
3 予備費	200,000	0
計	54,125,000	53,702,436



9
8 ハワイアン小物
作り教室

9
13 草木染め教室

9/19・20・21・22
シルバーウィーク
森林ふれあい教室

9
20 ノルディック
ウォーキング
体験会

9
21 ビーズ教室

9
21 秋の花壇管理
作業体験会

9
27 10
25 森のおはなし会

10
4 手織り体験教室



囲碁大会



おんしりんまつり



ツリークライミング®体験会



きのこ狩り体験



五感で感じる森の癒し体験会



つるバラと木バラの冬の基礎知識教室



リースづくり教室



寄せ植え教室

恩賜林組合クラフト教室作品集

恩賜林組合主催「クラフト教室」へ多数の参加ありがとうございました。
アンケートにご協力いただいた皆様の作品の中から、一部作品を紹介します。



1
戸高
ヒカリ さん
山中湖村
(幼児)



2
小俣
美夢 さん
富士吉田市
(低学年)



3
荒井
祐希 さん
富士吉田市
(高学年)



4
長谷川
弘義 さん
山中湖村
(一般)



5
渡辺
葉月 さん
富士吉田市
(低学年)



6
工藤
遥夏 さん
富士吉田市
(高学年)



7
大森
せつ子 さん
忍野村
(一般)



8
内田
エリザベタ さん
忍野村
(低学年)



9
細川
浩一 さん
富士吉田市
(一般)



対談

「自然と共に生きる」



組合長

栗原
雅智

歌手

しらい
みちよ

新春恒例の組合長対談。今年は、人と自然の調和をテーマに、コンサートと植樹活動を展開されている異色のシンガーしらいみちよさんをお迎えしました。

歌うこと、木を植えること

組合長：「和田弘とマヒナスターズ」の女性ボーカルという、華々しいご経歴の持ち主のしらいさんですが、現在は都留市にお住まいになり、人と自然との共生や調和をテーマに、コンサート活動や植樹活動を精力的に展開しておられるそうですね。

しらい：私はずっと東京で育ったのですが、父は都留、母は長坂の出身です。それで、夏休みや冬休みには山梨へ来て、自然の中で遊んでいます。特に母方の叔父は山が好きで、幼い私をあちこちの山の中へ連れて行ってくれたんですね。おかげで、山の中で遊ぶというのが今でも私の一番のフィールドワークになっていますし、そ

の時に見た風景が原風景でもあるんです。そんなわけで、七年前に都留に来て、今は歌を歌いながら森林（もり）づくりに取り組むという生活をしています。

組合長：歌手というお仕事と、森林づくりという活動には、あまり接点がないように思われるのですが？

しらい：父がアコースティック奏者ということもあり、幼い頃から音楽はすぐ身近にありました。歌うことも大好きでしたし。ですから、歌手になり、順調な人生を送っていたのですが、そのうち、自分にとっての音楽って何だろう？歌で何を表現するのだろう？自分は何のために生まれてきたのだろう？って次々と疑問を感じるようになっていったんです。それで、悩んだり、い

ろいろと新しいことに挑戦したり、一時は音楽から離れた時期もあったのですが、そんな中でふと気付いたのが、「音は周りにある」ということでした。川のせせらぎ、風の音、鳥や虫の鳴き声：私達の周囲にはたくさん自然の音があふれているんです。すごく単純なんですけど、それに改めて気付いたとき、ようやく、それまでの、自分の中から何かを発して他人を元気にしなくちゃいけない、楽しませなくちゃいけないという感覚から抜け出すことができて、そういう音の中こそ、自分の音楽があるんじゃないかって思えたんです。そして、この思いが突破口となり、音楽を奏でると同時に自然に何かを返したいという気持ちが生まれてきて、自然から頂いたものを自分の体を通して音楽として歌うという今のスタイルが作られてきたように思います。

組合長：なるほど。ご自分の音楽を追求する中で、自然に今の独自のスタイルを確立されてきたということですね。辛い時期もありましたようですが、素晴らしいですね。具体的にどのような活動をされているのですか？

しらい：アプローチの仕方はたくさんあると思うのですが、私の場合には、小さな頃からとにかく生き物が好きでしたので、自然との共生を考える上でも生き物に目がいきましました。今、絶滅危惧種と言われる生き物はたくさんいるのですが、その多くは人間の開発によって生きていくための場所を失ってしまったんです。そこでそういう動物に生きられる場所を作つてあげたいという思いから、たとえば、北海道ではシマフクロウ、屋久島ではウミガメといった具合に、生き物を主人公にしたコンサートを開き、彼らの生息地や餌場を作るための植林をするという活動をしています。都留でも、ムササビを主人公にした活動を、地元の方や子供達と一緒になつてやっています。

組合長：それは面白いですね。

しらい：木を植えるエネルギーで歌を歌ったり、歌を歌うエネルギーが木を植えるエネルギーになったりと、私にとっては、この両方がものすごく大事なんです。

静かに、着実に浸食している、
温暖化の脅威



組合長：私どもが管理する山林は、富士山北面の約八二〇〇haに及びます。この広大な自然の中には、野生の動物も多様に生存しています。シカやリス、クマにも会えます。また、演習場は広大な草原になっていまして、珍しい蝶の姿も確認されています。ただ、その反面、シカが植林した苗木の芽を食べてしまうなど、獣害もあるんです。

しらい：そうですね。北海道でも同じことが起きています。シカが減少しているからとある程度保護をしたから、今度は増えすぎて木の皮を食べるから、木がどんどん枯れてしまう。自然界ではごく自然に整っていたバランスも、一度壊れてしまうと人間の手で整えるのはすごく大変なんです。

組合長：温暖化もシカが増える原因の一つと言われていますね。雪が降らなくなったから、シカは容易に越冬できる。以前はシカを捕る猟師もいたし、冬になれば雪が降って移動ができなくなるからそこで死んでしまうシカもいたのに。こうした事実は、地球環境破壊が、普段の生活では目にしないけれど、確実に深刻な影響を及ぼしていることを物語っています。

しらい：本当にそうですね。実は、ウミガメの性別は、産卵後の砂の温度によって決まるのだそうです。温度が低いとオス、温度が高いとメス。それで、今、温暖化の影響で砂の温度が上がっ



てしまったために、屋久島のウミガメは、メスばかりが生まれるようになってしまったと。一気に変わるとか、いなくなるということではないのですが、着実に事態は悪い方へと進んでいるのです。そんなこともあって、少しずつでも自然を守る方向へと行けたらと思うて、歌を歌って訴えたり、植林をして森林を作ったりしているのですが、恩賜林組合でも、山の再生にも取り組んでおられるそうですね？

組合長：ええ。現在は再造林事業として、北富士演習場内にある国有地の南側にあたる広い地域を植え付け、下刈り、除伐、間伐を継続的に、新たな森林へと生まれ変わらせる作業に取り組んでいます。この地域はいわゆる着弾地に近い場所、調査をしていると、幹の中に破片がいっぱい入っていますし、不発弾を見つかることもあります。その多くは、戦後間もない頃、米軍が駐留していた頃に撃たれたもので、負の遺産ともいえるものです。だからこそ、こういう場所から健全な森林にしていかなければならないのです。

しらい：お花やキノコについても栽培方法を研究され、生産もされているのですよね？

組合長：ええ、特にキノコに関しては、以前から取り組んできたシイタケ、ナメコ、ヒラタケの生産に加え、昨年から原木マイタケにも取り組み始めました。これがいざいぶんと評判が良いのですよ。「美味しい」と。それで、来年には販売を始める予定になっています。

しらい：原木マイタケというのは、スーパーで見かけるマイタケとは違うのですか？

組合長：通常見かけるマイタケは、菌床と言って、オガ屑を固めたものを培地にして、温度管理などもした上で栽培するので、扱いは良いのですが、自然の物とは違います。私どもが研究してきたのは、原木マイタケと申しまして、原木に菌を植え付け、それを地面に埋めて栽培するというものです。こうすると、大きさも、味や香りも、より野生に近いマイタケができるんです。乾燥させると、さらにその違いが鮮明になるそうです。

しらい：それは楽しみです。キノコは体にも良いし、私も大好き。美味しいキノコをいただいていると、まさに山の神の恵みだなあと感じます。キノコに限らず、自然は多くの物を私たち人間に与えてくれています。この地の方々は昔から、そうした自然の恩恵を感じ、感謝しながら生きてこられた。それが、今でも山を守るという気持ちにつながっているのです。

組合長：手の入らない森林は、植生が変わり、荒れて行きます。植林をしたり、間伐をしたり、人間の手を入れることによって管理していかないと、立派な森林はできません。私達の先人は、古くから富士山北面の山林に入って、林野産物を採取したり、木々を育てたり、その木を伐って利用したりして生きてきました。こうした行為を、入会（いりあい）と言い、周辺住民の間で調整を取り、森林を大切にしながら暮らしてきました。森林にしても、草原にしても、自然はそこにあるもの、人間が手を入れることなく自然の力によって形作られたもの、放っておけばいつまでもそこにそのままの形で存在し続けるものだと思いがちですが、実は人間の努力によって維持されているという側面があるわけです。私どもでは、より、多くの方々に私達の森林に親しんでいただき、それを知っていただくということも、大変意義があることだと考え、親子木工教室とか、クラフト教室、シイタケ収穫体験、花の寄せ植え教室など、年間を通して、大人から子供まで多くの方に参加していただ

けるイベントも企画・開催しているのです。

生命の根源にある森林を

守るために：

組合長：人間にとって森林の大きな恵みが、私達人類にとつてかけがえのない財産であることは間違いないと思います。ですから、この森を守り林を守ることと同時に、今後、どのように生かしていくのかということにも、積極的に取り組んでいかなければと考えています。

しらい：全国には、いろいろな形で自然を一生懸命に守ろうとしている人がたくさんいるのですが、残念ながらつながっていない。彼らはみんな、個々に懸命に活動していて、そこでは様々な悩みが生じていたり、困難な状況があったりするのです。そうした方々にお会いするたびに、つながることの重要性を実感します。もしつながることができれば、解決できることだってたくさんあると思うのです。それで、私の一生のテーマとして、音楽を使って、人と人をつないだり、人と森林をつないだり、森林と森林をつないだりということができたらいなと思っているのです。**組合長：**それは素晴らしい。ひとりひとりの力は小さいけれど、それが集まれば大きな力になっていきますからね。

しらい：私は植樹という形で自然との共存に向けた活動をしています。その一方で、今ある森林を守っていくことは、ものすごく大切なことだと実感します。だから、恩賜林組合のような存在があつて、富士山の森林を守つていて下さるというのとはとても心強いし、ありがたいなと思うのです。自然を壊したのも人間だけれど、守り再生して、循環させていくのも人間の営みなのです。

組合長：本当に、おっしゃる通りだと思います。昔は、森林を守つたご褒美にキノコが頂けるといふような人と自然との関係があつたのですが、最近はそういう関係は崩れてしまった。今、ボランティアによる山林看守業務などにも積極的に取り組んでいるのですが、人間のひとり一人のモラルが問われる問題だけに、難しさも感じます。恩恵だけを求めても自然と共存することはできないのだと、そろそろ人間も気がつくと思います。森林とか自然というのは、生物全体の生命の根源にあるものなのです。そういう意味でも、しらいさんの活動は本当に意義のある活動です。私どもも協力できるところはぜひ協力させていただきたいと思っています。今日は貴重なお話をありがとうございました。



しらいみちよ 「和田弘とマヒナスターズ」の女性ボーカリストとして活躍した後、独立。現在は、人と自然の共生・調和をテーマに、コンサート活動と植樹活動を展開。日中友好砂漠緑化協会理事。世界自然遺産会議、東アジア国立公園湿地保護会議、森林文化シンポジウムなど、環境をテーマにしたイベントにも多数参加。北海道ではシマフクロウ、屋久島ではウミガメ、山梨ではムササビを主人公に、生態系の保護活動や森づくりも、地元密着型で展開している。

【近年の主な活動】

2005年 目標にしていた6500本目の桜を神戸市に植樹。植樹は現在も継続中。
2006年 Mt.富士ヒル・クライムにてコンサート&植樹祭・国際ソロプチミスト日本財団より環境貢献賞受賞
2008年 ムササビサーカスサークルを立ち上げ、ムササビの森作りを開始

組合からのお知らせ

第3回

おんしりんスノーシュー体験会

スノーシュー(だれでも簡単に雪の上を歩くことの出来る道具)を履き、冬の森へ出掛けましょう!

- 開催日 1回目 1月17日(日)
2回目 1月31日(日)
予備日 2月 7日(日)
- 時 間 午前の部:午前9時～正午
午後の部:午後12時30分～3時30分
※積雪の状況により時間やコース等を変更する場合があります。
- 持ち物 防寒着、手袋、毛糸の帽子、スノーブーツ(なければ長靴)、ゴーグル(なければサングラス)、着替えもご用意ください。
- 場 所 恩賜林組合・北富士組合有地内
- 対 象 富士吉田市・山中湖村・忍野村の小学生以上(小・中学生は保護者同伴)
- 参加費 無料
- 定 員 各回20人(先着順・完全予約制)
- 申込み 1月5日(火)から電話にて

受付及び問い合わせ TEL 22-3355(森林文化課)

平成22年度分

指名競争入札参加資格申請書の受付について(追加申請)

組合が発注する建設工事や物品の納入等を希望する事業者は、事前に指名競争入札参加資格申請書を提出し登録を受ける必要があります。

平成22年度につきましては、下記により申請書(追加分)を受け付けます。

記

- 提出書類 指名競争入札参加資格申請書(組合指定様式/1部100円)及び添付書類
- 受付期間 平成22年2月1日から2月28日まで(土、日、祝日は除く)
- 受付時間 午前9時から正午まで
午後1時から午後5時まで
- 有効期限 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで(1年間のみ)
- 注意事項 追加申請の受付のため、現在ご登録のある方は、申請の必要がありません。

受付及び問い合わせ TEL 22-3355(企画財政課)

中曽根地区の方へ

指名競争入札参加資格申請書を提出し、すでに登録されている業者の方で、中曽根地区(上吉田及び下吉田の一部地域)での住居表示実施に伴い、住所が変更になった業者の方は、新しい住所をお知らせください。

山火事予防について

冬季に入り季節風が強く空気が乾燥して火災が発生しやすい時期になりました。入会住民の皆様は、入山する際には山火事防止にご協力をお願いします。山火事の原因のほとんどが、人の火の取扱いの不注意で発生しています。

貴重な森林を山火事から守るため、皆様のご協力をお願いします。

！ 歩行中のタバコはやめましょう。

！ タバコの投げ捨てはやめましょう。

！ たき火は危険ですのでやめましょう。

山中湖村平野

おさだ てると
長田 光人くん (5歳)
やすし
安司くん (3歳)



謝 謝 来 園

今日は、森のおはなし会とクラフト教室に参加しました。楽しかったです。

法 律 相 談

本組合では、地域住民の方を対象に、顧問弁護士による無料法律相談日を設けています。

普段から法律に関して悩んだり、気にかかることがありましたら、この法律相談をご利用ください。



なお、次回の相談日については、次のとおりです。

次回相談日

平成22年1月12日(火)
平成22年3月 9日(火)

※指定日以外または電話による相談はできません。

お問い合わせ 演習地対策課 TEL22-3355(内線29)